

「ていね夏あかり」におけるちょうちんを飾る装置の製作にあたって

大垣・谷口研究室

この度は、私たちの取り組み（ていね夏あかり）の活動に対して、同窓会からご援助いただきありがとうございました。この援助金は以下に報告する活動に有効に使わせていただきました。

◆今年度の活動の概要

私たちの研究室では、13年前から「ていね夏あかり」という活動に取り組んでいます。この活動は本学が立地している手稲区において、大垣研究室（環境デザイン学科）と谷口研究室が中心となって、手稲区内の子どもたち、高齢者と大学生による「ちょうちんづくり」を媒介とした活動を主体的に仕掛け、取り組んでいます。

今年の配置テーマは「夢」でした。円を主体とした配置となっています。この「円」は夢を表現しており、子どもたちの夢がどんどん大きく広がっていくようなイメージをしました。そして、このまつり会場に立ったすべての人の夢が叶うようにと願いも込められています。

ちょうちんを飾る装置を製作するにあたり、「子どもたちの安全に考慮したものであること」「高低差をつけることでより魅力的な空間づくりをすること」「少人数での組み立てが可能であること」「継続して使用できること」を条件に取り組みしました。

1.巨大ちょうちん

通常は高さ30cm位のものをつくるのですが、ちょうちんの中に入ってあかりの中に囲まれた空間を演出するために、高さ2m30cm程の巨大ちょうちんを製作しました。（写真1,2）



写真1（点灯前）



写真2（点灯後）

2.メインタワー

夏あかり会場にメインタワーをつくり、象徴的なものを配置し、空間を盛り上げる役目をしています。（写真3,4）



写真3（点灯前）



写真4（点灯後）

これらの装置は継続して使用することができ、簡単に組み立てることができ、また配置を変化させることで違った空間演出が可能です。

今年の「ていね夏あかり」は、7月25日（日）に開催されました。多くの区民が来場し大盛況でした。ちょうちんの総数は、小学校、高齢者団体、児童会館などの全ての団体を合わせ、6,474個と過去最高のものとなりました。

「ていね夏あかり」が今日まで成長してきたのは、この取り組みを継続させることで、エネルギーを増幅させ、地域住民との連携を図り、学生がこの取り組みを支えたたちからがったからです。

ていね夏あかりに関わった全ての方々のご協力、同窓会のご援助本当にどうもありがとうございました。

「第13回ていね夏あかり」での様子



アイスキャンドル



子どもたちの製作ちょうちん



アイスキャンドルと子どもたち



当日製作の様子



全景